

2021年3月～5月

2021年6月1日  
札幌管区气象台 気象防災部  
地球環境・海洋課

# 北海道地方 春の天候

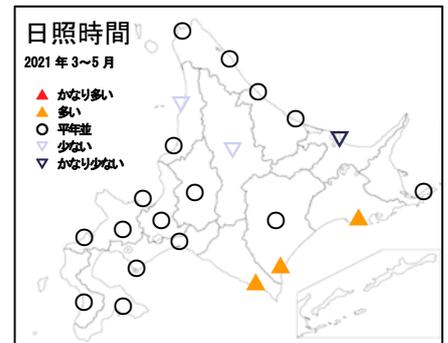
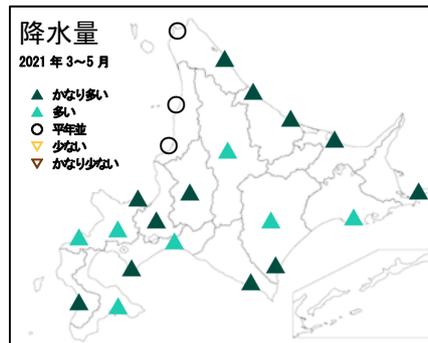
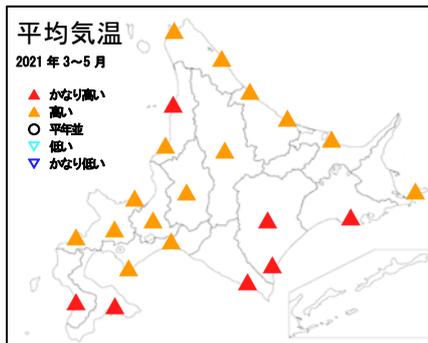
## 今春（3～5月）の概況

— 春の気温は平年より高く、3月は記録的な高温。春の降水量はかなりの多雨 —

今春は、中国大陸から日本の東に進んだ高気圧の縁を回って、南から暖かい空気が入りやすかったため、気温は平年より高かった。特に3月は、記録的な高温となった。また、3月と4月は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、月間日照時間も多かった。一方、4月下旬から5月中旬にかけて、オホーツク海に低気圧が位置しやすかったため、寒気の影響を受けた時期もあった。5月は、低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、月間日照時間は少なかった。春の降水量は、4月中旬と5月中旬に日本海側と太平洋側を中心に大雨となった日もあり、平年よりかなり多かった。

[今回のまとめから、1991～2020年の観測値に基づく平年値を使用しています。]

## 階級分布図



## 季節の気候表

3～5月	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	138	++	100	0
日本海側	+1.1	+	129	++	100	0
オホーツク海側	+1.0	+	158	++	96	0
太平洋側	+1.3	++	139	+	103	+

注) ・数値は、地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。  
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 月別の統計値

3月	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.4	++	130	+	110	+
日本海側	+2.3	++	96	0	117	+
オホーツク海側	+2.4	++	114	+	114	+
太平洋側	+2.4	++	181	++	100	0

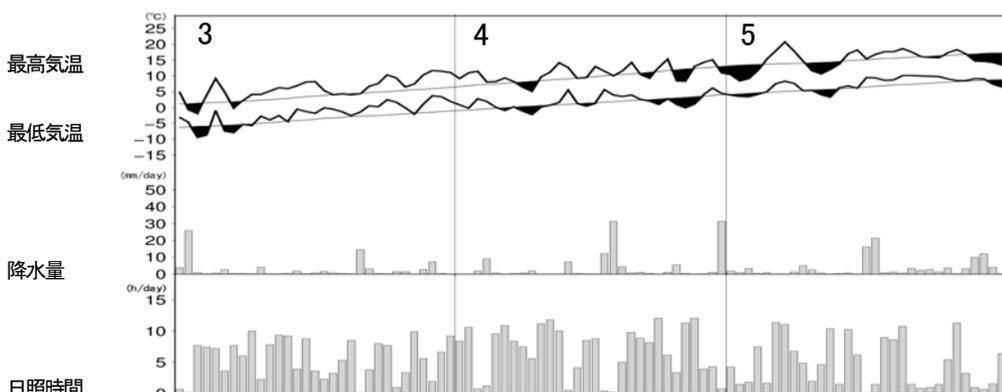
4月	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.8	+	117	++	115	+
日本海側	+0.6	+	157	+	116	+
オホーツク海側	+1.3	+	230	++	105	0
太平洋側	+0.8	+	177	++	118	++

5月	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.3	0	123	+	80	-
日本海側	+0.2	0	140	++	74	--
オホーツク海側	-0.6	0	136	+	71	--
太平洋側	+0.8	+	95	0	91	0

注)・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 気象経過図



2021年春(3~5月)の日々の気象経過(北海道地方)

### 【気温】

今春は、4月下旬から5月中旬にかけて、北からの寒気の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われる日や南から暖かい空気の流入する日が多かったため、平均気温は+1.1°Cと平年より高かった。特に3月は、1946年の統計開始以降、高い方からの極値を更新した。

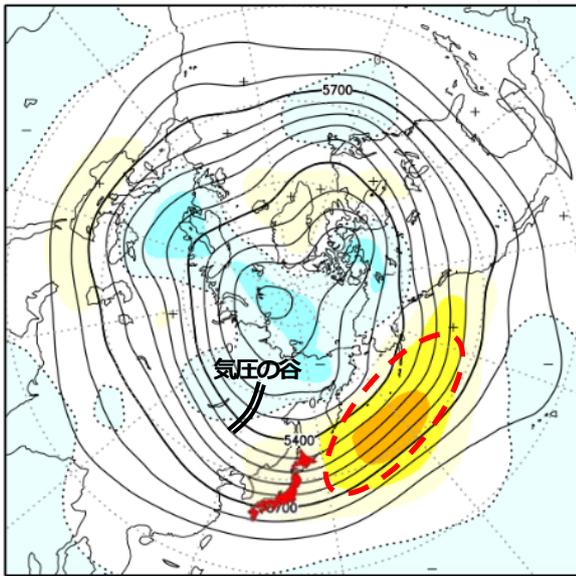
### 【降水量】

3月は、低気圧や前線の影響で平年より多く、下旬の太平洋側は平年よりかなり多かった。4月は、中旬に日本海側を中心にまとまった雨が降り、月の降水量は平年よりかなり多かった。5月は雨の日が多く、中旬はまとまった雨の降った日もあった。春の降水量は、平年比138%で平年よりかなり多かった。

### 【日照時間】

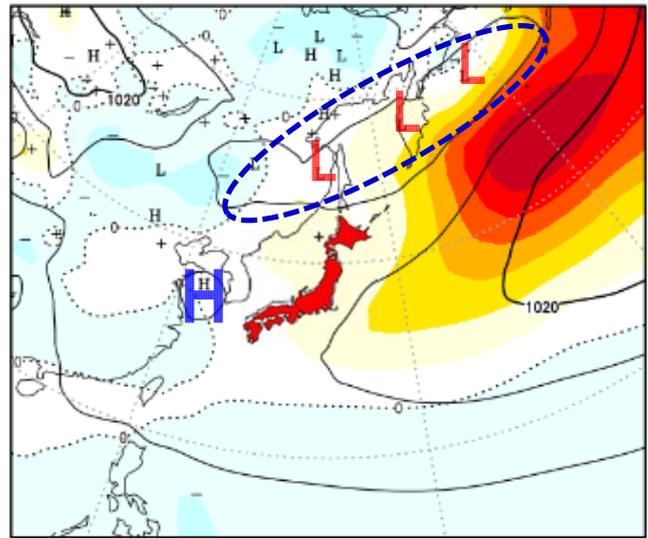
3月から4月にかけては、高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かった。5月は、低気圧や気圧の谷の影響で日本海側やオホーツク海側を中心に雨の日が多く、日照時間が平年よりかなり少ない時期もあった。春の日照時間は、平年比100%で平年並となった。

## 春の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の3か月平均500hPa高度と年間偏差  
(年間値は1991～2020年の平均値)

実線は500hPa高度(m)、着色は年間偏差(m)。  
年間偏差が暖(寒)色の領域は年間より高度が高(低)く、一般に暖(寒)気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている所で偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の3か月平均海面気圧と年間偏差  
(年間値は1991～2020年の平均値)

実線は等圧線(hPa)、点線は年間偏差(hPa)を示す。年間偏差の暖(寒)色は、年間より気圧が高(低)い領域。寒色の領域では、年間より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

### 500hPa(上空約5500m)天気図

バイカル湖の東は高度が低く、気圧の谷となりやすかった。一方、日本のはるか東海上を中心に高度が高かった(赤点線)。このため、北海道付近は南から暖かい空気が入りやすかったが、北からの寒気の影響を受けた時期もあった。

### 地上天気図

黄海から日本のはるか東にかけて気圧が高く、高気圧に覆われやすかった。北海道付近は、高気圧の縁を回って南から暖かい空気が入りやすかった。一方、中国東北区からカムチャツカの東にかけて気圧が低くなっており(青点線)、北海道付近は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。

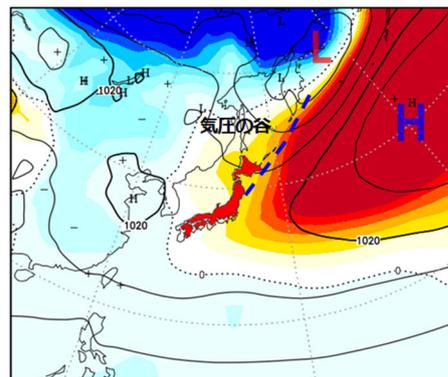
## 月毎の気象

### (1) 3月

— 月平均気温は太平洋側で歴代1位、北海道地方で歴代2位の高温 —

**気象経過**：3月上旬と下旬は、天気は数日の周期で変わった。2日は、前線を伴った低気圧の影響により記録的な大雪となった所もあった。中旬は、低気圧や気圧の谷の影響で雨または雪の降った日もあったが、高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かった。また、南から暖かい空気が流れ込んだため、1946年の統計開始以降、月平均気温は3月として太平洋側で歴代1位、北海道地方で歴代2位の高温となった。特に、29日に札幌で日最高気温18.3℃を観測するなど、28日から31日にかけては、多くの地点で3月としての日最高気温の高い方からの極値を更新した。

**地上天気図**：日本の東で高気圧が強まりやすく、北海道付近には南から暖かい空気が流れ込みやすかった。三陸沖からカムチャツカの東にかけて、気圧の谷（青点線）となりやすかったため、北海道付近は太平洋側を中心に低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。



3月の地上天気図

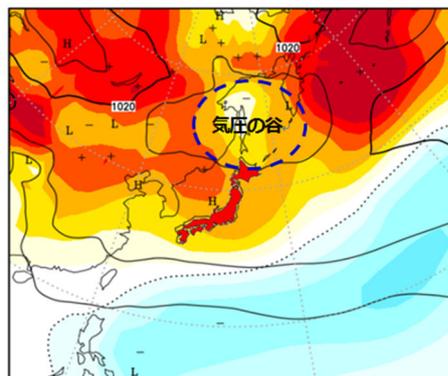
図の見方は春の地上天気図に同じ

### (2) 4月

— 低気圧の影響で全道的に多雨、中旬は記録的多雨 —

**気象経過**：4月は、天気は数日の周期で変わった。上旬は、高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かった。中旬は、低気圧や気圧の谷の影響で雨または雪の降った日が多く、特に17日から18日にかけては、前線を伴った低気圧の影響で太平洋側では大雨となった所があった。下旬は、高気圧の張り出しの中となり晴れた日もあったが、寒気の影響でオホーツク海側を中心に雪の降った所もあった。また、30日は前線を伴った低気圧の影響でオホーツク海側を中心に大雨となった所があった。

**地上天気図**：大陸から日本の東にかけて気圧が高く、北海道付近は高気圧に覆われやすかった。サハリン付近は気圧の谷（青点線）となっており、北海道付近は低気圧や気圧の谷の影響を受ける時期もあった。



4月の地上天気図

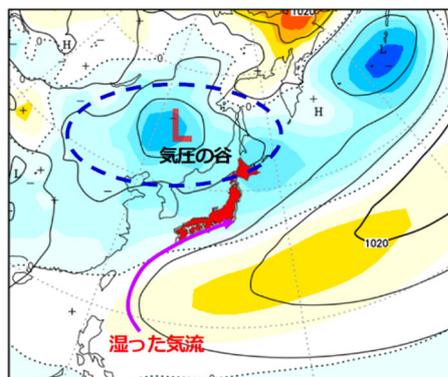
図の見方は春の地上天気図に同じ

### (3) 5月

— 低気圧や気圧の谷の影響により、多雨・寡照。特に下旬は記録的な寡照 —

**気象経過**：5月は、上旬と下旬を中心に低気圧や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。中旬は、高気圧の張り出しの中となって晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で大雨となった日もあった（16日に八雲町熊石で日降水量109.0mmなど）。このため、月間日照時間は、日本海側では5月として少ない方からの極値を更新した所もあった。

**地上天気図**：日本の南では、太平洋高気圧が南西に張り出したため、西日本から東日本は太平洋高気圧の縁辺からの湿った気流（桃色矢印）が入りやすかった。一方、中国大陸からオホーツク海にかけては気圧が低く（青点線）、北海道付近は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。また、低気圧や気圧の谷に向かって、南から暖かい空気が流入しやすかった。



5月の地上天気図

図の見方は春の地上天気図に同じ

## 地点別気候表 (3~5月)

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 °C	平年差 °C	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
稚内	5.4	+1.1	+	191.5	110	0	474.3	96	0
北見枝幸	5.0	+1.0	+	244.5	128	++	478.5	99	0
羽幌	6.7	+1.2	++	203.5	103	0	482.0	94	-
雄武	4.8	+1.0	+	236.5	163	++	491.1	96	0
留萌	6.6	+1.1	+	173.0	111	0	505.9	100	0
旭川	6.6	+1.1	+	219.5	129	+	493.4	97	-
網走	5.2	+0.9	+	236.5	153	++	488.0	91	--
小樽	7.5	+1.0	+	266.5	135	++	504.2	100	0
札幌	8.3	+1.2	+	268.0	143	++	517.3	99	0
岩見沢	6.8	+0.9	+	271.5	139	++	526.0	98	0
帯広	7.1	+1.3	++	258.0	137	+	607.2	101	0
釧路	5.5	+1.4	++	288.5	115	+	587.0	105	+
根室	4.6	+1.1	+	321.5	155	++	542.4	100	0
寿都	7.3	+0.9	+	271.0	140	+	504.2	106	0
室蘭	7.2	+1.2	+	313.5	137	++	576.8	100	0
苫小牧	6.4	+1.1	+	344.5	133	+	531.0	104	0
浦河	6.3	+1.0	++	383.5	152	++	603.0	106	+
江差	8.8	+1.2	++	366.5	155	++	503.5	107	0
函館	8.7	+1.5	++	292.0	130	+	562.4	104	0
倶知安	6.1	+1.1	+	294.5	122	+	486.4	100	0
紋別	5.4	+1.1	+	261.5	186	++	500.8	97	0
広尾	6.7	+1.7	++	575.5	156	++	567.9	105	+

注) ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。

・「 ) 」付きの値は欠測を含む。「 ] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

## 今春に観測された統計開始以来3位までの記録

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
3月	月平均気温(高い)	第1位	札幌	3.8 °C	+3.2 °C	3.8 °C (2015)	1877
			帯広	2.0 °C	+3.0 °C	2.0 °C (2008)	1892
			根室	1.3 °C	+2.6 °C	1.2 °C (2020)	1880
			寿都	3.4 °C	+2.4 °C	3.3 °C (2015)	1885
			室蘭	3.7 °C	+2.8 °C	3.4 °C (2015)	1923
			苫小牧	2.6 °C	+2.5 °C	2.4 °C (2020)	1943
			浦河	3.2 °C	+2.7 °C	3.0 °C (2020)	1927
			江差	5.4 °C	+2.9 °C	4.8 °C (2020)	1941
			函館	4.7 °C	+3.3 °C	4.3 °C (2015)	1873
		第2位	倶知安	1.6 °C	+3.0 °C	1.3 °C (2015)	1944
			広尾	3.0 °C	+3.5 °C	2.3 °C (2018)	1958
			北見枝幸	1.1 °C	+3.1 °C	1.3 °C (2015)	1943
			雄武	0.7 °C	+3.1 °C	0.8 °C (2015)	1943
			留萌	2.1 °C	+2.5 °C	2.5 °C (2015)	1943
			旭川	1.2 °C	+3.0 °C	1.7 °C (2015)	1889
			網走	1.0 °C	+2.9 °C	1.5 °C (2015)	1890
			小樽	3.0 °C	+2.5 °C	3.3 °C (2015)	1943
			釧路	1.6 °C	+2.5 °C	1.7 °C (2015)	1910
第3位	紋別	1.1 °C	+2.9 °C	1.3 °C (2015)	1956		
	稚内	1.4 °C	+2.4 °C	2.3 °C (2015)	1938		
	羽幌	1.9 °C	+2.5 °C	2.8 °C (2015)	1921		

			岩見沢	1.9 °C	+2.8 °C	2.5 °C (2015)	1947
	月最深積雪(大きい)	第1位	岩見沢	195 cm	191 %	180 cm (1970)	1947
4月	月降水量(多い)	第1位	雄武	128.0 mm	296 %	128.0 mm (2000)	1943
		第2位	紋別	111.0 mm	238 %	156.0 mm (2000)	1956
		第3位	広尾	270.0 mm	240 %	410.0 mm (2000)	1958
			北見枝幸	139.0 mm	227 %	150.7 mm (1947)	1943
			苫小牧	163.5 mm	205 %	204.6 mm (1947)	1942
月間日照時間(多い)	第3位	江差	223.8 h	130 %	246.0 h (2014)	1941	
5月	月間日照時間(少ない)	第1位	岩見沢	132.1 h	67 %	139.4 h (1995)	1947
3-5月	春の平均気温(高い)	第1位	函館	8.7 °C	+1.5 °C	8.6 °C (2015)	1873
		第2位	釧路	5.5 °C	+1.4 °C	5.9 °C (2015)	1910
			江差	8.8 °C	+1.2 °C	9.0 °C (2002)	1941
			広尾	6.7 °C	+1.7 °C	6.9 °C (2015)	1958
			第3位	羽幌	6.7 °C	+1.2 °C	7.1 °C (2015)
		帯広		7.1 °C	+1.3 °C	7.7 °C (2019)	1892
		浦河		6.3 °C	+1.0 °C	6.6 °C (2015)	1927
	春の降水量(多い)	第2位	紋別	261.5 mm	186 %	298.0 mm (1975)	1956

### 長期積雪（根雪）の初・終日（5月31日現在）

	長期積雪(根雪)の初日			長期積雪(根雪)の終日		
	今季	平年差	前年差	今季	平年差	前年差
稚内	11月30日	1日早	18日早	3月30日	3日早	21日遅
旭川	11月30日	7日遅	16日遅	4月1日	6日早	6日遅
網走	11月26日	10日早	28日早	3月29日	3日早	8日遅
札幌	12月14日	9日遅	6日早	3月23日	10日早	4日早
帯広	1月7日	28日遅	36日遅	3月19日	同じ	6日早
釧路	1月7日	6日遅	13日早	3月15日	5日遅	2日遅
室蘭	12月27日	2日早	12日早	3月9日	3日遅	9日早
函館	12月14日	6日早	6日早	3月9日	2日早	12日遅

### 桜の開花日

	本年	平年差	前年差
稚内	5月8日	5日早	2日早
旭川	4月29日	5日早	4日早
網走	5月6日	4日早	1日早
札幌	4月22日	9日早	8日早
帯広	4月24日	8日早	8日早
釧路	5月8日	8日早	2日早
室蘭	4月27日	7日早	4日早
函館	4月20日	8日早	6日早

### 2020年10月～2021年5月の降雪量(cm)と平年比(%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10～5月
稚内	—	33: 80%	91: 75%	199: 154%	124: 118%	60: 88%	2: 22%	—	509: 107%
北見枝幸	—	33: 56%	129: 93%	152: 110%	104: 95%	60: 66%	8: 36%	—	486: 87%
羽幌	—	44: 100%	181: 118%	150: 94%	114: 104%	34: 52%	— 0%	—	523: 97%
雄武	—	16: 52%	65: 78%	121: 144%	64: 90%	52: 88%	20: 118%	—	338: 97%
留萌	—	17: 49%	191: 130%	142: 86%	93: 78%	41: 55%	— 0%	—	484: 88%
旭川	—	39: 48%	199: 126%	110: 88%	121: 125%	59: 74%	— 0%	—	528: 94%
網走	—	16: 123%	57: 80%	90: 100%	51: 74%	57: 110%	7: 47%	—	278: 89%
小樽	—	17: 47%	114: 80%	111: 71%	110: 85%	54: 68%	— 0%	—	406: 74%
札幌	—	19: 63%	50: 44%	137: 100%	75: 65%	50: 68%	— 0%	—	331: 69%
岩見沢	—	77: 110%	382: 191%	211: 113%	227: 166%	47: 65%	2: 25%	—	946: 140%
帯広	—	— 0%	— 0%	115: 221%	12: 32%	55: 153%	— 0%	—	182: 93%
釧路	—	— 0%	1: 4%	81: 253%	24: 89%	11: 35%	— 0%	—	117: 92%
根室	—	— 0%	22: 79%	83: 193%	18: 46%	27: 75%	3: 25%	—	153: 96%
寿都	—	3: 13%	97: 90%	148: 101%	100: 88%	51: 85%	4: 133%	—	403: 89%
室蘭	—	— 0%	14: 52%	58: 118%	25: 56%	30: 111%	1: 25%	—	128: 82%
苫小牧	—	— 0%	1: 3%	24: 57%	14: 33%	31: 119%	— 0%	—	70: 48%
浦河	—	— 0%	19: 68%	100: 244%	40: 114%	4: 21%	1: 100%	—	164: 128%
江差	—	— 0%	49: 100%	58: 75%	37: 62%	2: 8%	— 0%	—	146: 67%
函館	—	— 0%	84: 106%	83: 91%	94: 127%	8: 20%	— 0%	—	269: 88%
倶知安	—	61: 64%	303: 120%	249: 98%	247: 132%	89: 73%	15: 88%	—	964: 104%
紋別	—	38: 181%	63: 84%	120: 138%	59: 77%	55: 89%	5: 31%	—	340: 100%
広尾	—	— 0%	21: 35%	154: 186%	23: 33%	44: 70%	2: 13%	—	244: 82%
北海道平均		45%	80%	129%	86%	72%	30%		91%
日本海側		57%	107%	98%	102%	64%	27%		93%
オホーツク海側		103%	84%	123%	84%	88%	58%		93%
太平洋側		0%	43%	170%	66%	76%	20%		89%

注1) ここでは、10月と5月は平年の降雪量が1cm未満の地点が多いため平年比を求めていない。

注2) 「10～5月」の平年比は、年ごと（寒候年：前年8月～当年7月）の降雪量平年比とは異なる。

注3) ) 付きの値は欠測を含む。

## 今春に発表した天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想されるときなどに発表する情報を指します。

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先                      札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課  
TEL                      (011) 611-6174